



創立153周年

5月号（令和8年4月30日発行）

kurosho-dayori

鉄小だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

新緑と花の美しさ、学びを深める5月へ

校長 玉置 恭美



初夏を思わせるような日差し、木々の新緑が目にはまぶしい季節となりました。鉄小学校のつつじは今年たくさんの花を咲かせました。5年生が、良質な種もみを選ぶ「塩水選」を終え、播種を待つばかりです。地域の方のご指導に感謝です。

1年生を迎える会を経て、学校生活にだいが慣れてきた1年生たちは、班ごとに学校内を巡る「学校探検」をしました。特別教室の使い方や、職員

室入室時の挨拶など、学校内の約束を着実に身に付けている1年生です。

4月23日に小学校6年生、中学校3年生を対象に、全国学力学習状況調査が行われました。これは全国的な児童生徒の学習状況の分析により各学校における学習指導の充実や改善に役立てるためのものです。小中学校の国語の問題を見ると、単に既習事項を駆使して、表現する力、読みとる力を問う問題だけでなく、他の教科の内容と関連する教科横断的な設問や、児童が考えた「紹介動画を作成する計画書」を読んでその工夫を読み取る設問などが見られます。また算数でも、日常生活に関連したアンケート結果の数字から考察する設問があり、国語、算数共に、文章の内容を理解して、設問の意図を理解する力が求められているのがわかります。

ICT技術が進み、知りたいことを即座に調べ、動画で説明を得ることができる時代となりました。しかし、文章を読んで要点をつかむこと、その指示通りに作業をすること、そして自分の思いを適切に表現することは、これからも大切な知識・技能です。鉄小学校では、4年間、算数を重点教科として学習指導法を工夫改善してきました。令和8年度からは、国語を重点教科とし、「自ら考え、学び合う国語科学習」をテーマに、主体的に読み表現する子を育てることを目指します。まとまった文章のテーマをつかんだり、行間や情景を読み取って想像したりする力を伸ばしてゆくことが鉄小の児童にも求められています。読書量が減少し、SNS等の短文に慣れ、動画情報に頼る傾向がでています。児童の聞く・読む力の育成に学校、家庭が連携して取り組んでいけたらと思います。